令和6年(2024年)6月7日

熊本市内の飲食店での食中毒発生に伴う営業停止処分について

本日、食中毒発生に伴い飲食店への営業停止処分を行いましたので、お知らせします。

1 概要

(1) 探知

令和6年(2024年)5月31日(金)、熊本市内在住の方から熊本市保健所に「5月25日(土)に市内の飲食店を2名で利用し、2名とも体調異常を呈している。」との連絡がありました。

(2) 調査

当該グループは職場の同僚2名で、5月25日(土)21時頃から当該飲食店で食事をしており、5月27日(月)夜から翌日未明にかけて下痢、腹痛などを発症し、そのうち1名が医療機関を受診していることが判明しました。

(3) 決定

有症者2名の共通食に当該飲食店での食事があり、また、有症者の検便検査結果、喫食状況や発症状況、当該飲食店での調理状況から、この飲食店の食事を原因とする食中毒と断定し、この飲食店に対して営業停止を命じました。

2 有症者の状況

(1) 発症日時	令和6年(2024年)5月27日(月)20時頃(初発)
(2) 主な症状	下痢、腹痛
(3) 喫食者数	2名
(4) 有症者数	2名(男性2名、年齢20歳代)
(5) その他	医療機関受診者1名(入院者0名)
2名とも現在は回復している。

3 原因食品	5月25日(土)に当該飲食店で提供された食事
(加熱不十分と思われる鶏肉料理を含む)(21時頃喫食) |
|--------|---|

4 病因物質	カンピロバクター

5 措置等

営業停止 令和6年(2024年)6月7日(金)から6月8日(土)までの2日間

【備考】

検体内容	検体数	結 果	検査機関
有症者便	2	カンピロバクター陽性 2 検体	熊本市環境総合センター
調理従事者便	2	検査中	
原因施設の拭取り	10	検査中	

※令和6年(2024年)6月7日現在

【参考】熊本市における食中毒の発生状況（ただし、本件は含まない。）

	令和6年 (2024年)	令和5年 (2023年)	令和4年 (2022年)	令和3年 (2021年)	令和2年 (2020年)
発生件数(件)	3	2	10	7	2
患者数(名)	14	2	23	20	33
死者数(名)	0	0	0	0	0

なお、令和6年の1件(5名)は、本件と同じカンピロバクターを病因物質とするものです。

《カンピロバクターによる食中毒について》

〔特徴〕 家畜、家きん類の腸管内に生息し、食肉（特に鶏肉）、臓器や飲料水を汚染する。乾燥に極めて弱く、また、通常の加熱処理で死滅する。

〔症状〕 潜伏期は2～5日とやや長い。発熱・倦怠感・頭痛・吐き気・腹痛・下痢など。少ない菌量（100個程度）でも発症。

〔過去の原因食品〕 食肉（特に鶏肉）、飲料水、生野菜など。

〔対策〕

- ・食肉は十分に加熱調理（中心部を75℃以上で1分間以上加熱）を行う。
- ・食肉は他の食品と調理器具や容器を使い分けて処理や保存を行う。
- ・食肉を取り扱った後は、手を洗ってから他の食品を取り扱う。
- ・食肉に触れた調理器具等は使用後洗浄・殺菌・乾燥を行う。

〔熊本市での過去の発生例〕

年	発生数	年	発生数
平成26年	0件	令和元年	3件（患者数13名）
平成27年	3件（患者数16名）	令和2年	1件（患者数3名）
平成28年	1件（患者数16名）	令和3年	6件（患者数19名）
平成29年	5件（患者数22名）	令和4年	6件（患者数19名）
平成30年	1件（患者数2名）	令和5年	0件

（平成26年からの10年間で、熊本市において26件（患者数110名）発生）

（お問い合わせ先）

熊本市保健所 食品保健課
 課長：松永 孝一
 担当：清水 奈味（副課長）
 電話：096-364-3188